

令和元年度新ふるさとづくり総合支援事業 実施事業一覧表(南予地方局)

番号	市町名	事業名	事業概要	事業主体	数値目標		事業成果	
					設定目標	数値	実績	目標達成率
1	八幡浜市	「八幡浜をフィールドとした次代を担うグローバル人材の育成と関係人口の創出」事業	多様な国籍及びバックグラウンドを持つ「新渡戸国際塾」の修了生による市内高等学校での出張講義のほか、ソフトバンク(株)と連携のもと地域解決型インターシップ「TURE-TECH」の受け入れ及び提案施策の事業化を行うことで、グローバル人材の育成と関係人口の創出を図る。	八幡浜市	今年度の取り組み事業及び来年度の予算化事業件数	4件	5件	125%
2	八幡浜市	子育て拠点「だんだん」と地域で育む浜っ子応援事業	子育て支援施設「だんだん」開設に伴い、オープニングイベントを行うほか、ピザ窯を活用した小中高異年齢交流事業や伝統遊びを通じた三世代交流促進事業を行うことで、地域の子育て支援意識の醸成を図る。	八幡浜市	伝統遊び世代間交流促進事業参加者数	100人	582人	582%
3	八幡浜市	中心市街地での食べ歩き促進による「美食のまち八幡浜」プロジェクト	八幡浜版「ピンチョス」(様々な食材を串にさし、つまんで食べる料理)の開発と食べ歩きで街を周遊するスタイルの確立を目指すとともに、SNSを活用して事業のPRを行うことで、市内や中心商店街への集客数の増加及び滞在時間の延長を促し、街の活性化につなげていく。	八幡浜商工会議所	写真コンテスト実施におけるSNS掲載時のいいね!数	1,000件	10,000件	1000%
4	八幡浜市	やわたはま暮らし体感ツアー2019	地方への移住を希望している首都圏在住の「20~30代の女性」及び「就農に興味がある若年ファミリー」を対象に、移住後の生活を具体的にイメージできるモニターツアーを実施する。また、ファミリーツアーについては、ツアー中に撮影した写真を就農パンフレット等に反映させるほか、首都圏で開催予定の市単独移住セミナーにゲストスピーカーとして参加してもらうことで、移住希望者及び交流人口の増加を図る。	八幡浜市	ツアー応募者数(女性限定ツアー)	15人	31人	207%
5	八幡浜市	大規模災害に備える地域防災力の向上事業	平成30年7月豪雨災害を教訓とし、南海トラフ地震等大規模災害へ対応するため、既存の地域防災計画等の見直しを行うほか、市内一斉避難訓練を行うことで、災害発生時の避難所の受け入れ体制や対応力強化及び市民の防災意識の高揚を図る。	八幡浜市	防災訓練の参加者数	8,000人	7,700人	96%
6	大洲市	地域内交通(支線)見直し事業	「大洲市地域公共交通網形成計画」に基づき、交通空白地におけるタクシー又はスクールバスの空き時間を利用したデマンド型運行による実証運行を実施し、地域の実情に応じた利便性の向上や地区と連携した利用促進を図る。	大洲市	総利用者数	400人	388人	97%
7	西予市	西予市認知度向上プロジェクト「さいよ」じゃないよ「せいよ」だよ!	西予市内の人や地域に焦点をあてた女性視点のPR冊子を作成し、中予地区及び都市部の女性をターゲットに配布のうえ、アンケートによる移住への意識調査を行うとともに、ホームページ等でも情報発信することで、西予市の認知度向上を図る。また、PR活動を通じて興味を示した方に対しては、移住体験及び就業体験ツアーを実施する。	西予市	アンケート回収数	46件	504件	1096%
8	西予市	夢を託したタイムカプセル開封事業	20年前に夢メッセージを封入したタイムカプセルを開封するイベントを開催するとともに、イベント参加のため帰省する若者を対象に「ふるさとしろかわ応援サポーター」を任命し、市外において故郷の魅力をPRする活動を行ってもらうことで、関係人口の増加及び移住定住の促進に繋げていく。	西予市	応援サポーター内諾者数	75人	53人	71%

令和元年度新ふるさとづくり総合支援事業 実施事業一覧表(南予地方局)

番号	市町名	事業名	事業概要	事業主体	数値目標		事業成果	
					設定目標	数値	実績	目標達成率
9	西予市	下ノ町地域活性化事業～王子の灯り～	宇和町下ノ町地区の王子神社をスポットに地域住民主体のイルミネーションイベントを開催し、若者・子育て世代をはじめとする幅広い層が交流できる場を創出する。それにより、顔の見えるご近所付き合いの再構築を図るとともに、若者の自治活動への参画を促しながら、地域の活性化へ繋げていく。	王子神社(おうじんさま)王子の灯り実行委員会	イベント来場者数	500人	233人	47%
10	西予市	行ってよし・住んでよし・せいよし移住・定住・安住プロジェクト	平成30年度に策定した移住交流事業化基本構想に基づき、行政と住民を繋ぐコーディネーター的役割を担う中間支援組織の設立及び法人化を図る。また、運営実施計画を作成し、ビジネスとして持続可能な移住交流推進体制の確立を図る。	西予市	移住フェア相談件数	32回	54回	169%
11	西予市	デザイン制作事務所開業プロジェクト	デザイナーとしての経験を生かして、西予市の多様な商品の特徴や魅力を引き出すデザインをリパッケージして世に送り出すとともに、デザインの楽しさを伝える活動を行うことで、地域に根差したデザイン制作事務所として、地域デザインのクオリティ向上に繋げ、地域の活性化を図る。	小野 慎平	起業	1件	1件	100%
12	内子町	内子自治センター新館15周年記念事業～高畑誠一の軌跡を辿る～	内子自治センター新館15周年を記念して、内子町出身で日本貿易の先覚者として知られる高畑誠一氏の軌跡を辿る企画展を行うほか、有識者による講演会及びパネルディスカッションを開催し、地元の偉人が残した功績を顕彰するとともに、中学生・高校生には、世界へ目を向けてもらう機会とする。	内子町	企画展来場者数	1,000人	4,199人	420%
13	内子町	内子町の魅力発信による移住促進事業	内子町の魅力を具体的にイメージ化できる「映像」の制作を行うほか、先輩移住者のインタビューなどを紹介した「パンフレット」を作成し、移住フェアや移住相談で活用することで、移住促進及び交流人口の増加を図る。	内子町	映像・パンフレットを活用した移住相談回数	15回	22回	147%
14	伊方町	佐田岬漁業体験プログラム推進事業	現役漁師の協力を得て、漁業体験プログラムの開発を行い、観光コンテンツの充実化を図るとともに、町内での消費活動につなげる仕組みづくりの構築を行うことで、着地型観光の推進による交流人口の増加を図る。	特定非営利活動法人佐田岬ツーリズム協会	モニターツアー参加申込者数	75人	63人	84%
15	宇和島市	宇和島圏域インバウンド推進事業	松山-台北線就航を機に、台湾を中心とした東アジアの訪日外国人観光客の誘客を促進するため、東アジアのエージェントや個人旅行者が利用する旅行雑誌に宇和島圏域のPR記事を掲載するとともに、台湾の旅行エージェントを宇和島圏域に招聘するファミツアーを実施する。	宇和島圏域交流促進連絡協議会	フリーペーパーの配布社数	12社	65社	542%
16	宇和島市	宇和島市公共交通マップ作成事業	今年6月に策定した「宇和島市公共交通網形成計画」において実施した住民アンケートで、「時刻表や路線をわかりやすくする必要がある」との回答が多かったことから、市内の公共交通機関を網羅できる公共交通マップを作成し、市のHPで公開することで、公共交通を利用する際の不安解消を図るとともに利用促進につなげる。	宇和島市	マップに掲載する施設数	40箇所	56箇所	140%
17	宇和島市	清良記シンポジウム	宇和島市指定文化財でもある軍記物「清良記」と南予地域(宇和島市・鬼北町・松野町)の遺跡調査に関する研究成果について、シンポジウムを開催し、周知・啓発することで、清良記を通じた戦国時代における当該地域の歴史的な関係性等について、理解を深め、南予地域における交流人口の増加を図る。	宇和島市	冊子(資料集)送付箇所数	100箇所	114箇所	114%

令和元年度新ふるさとづくり総合支援事業 実施事業一覧表(南予地方局)

番号	市町名	事業名	事業概要	事業主体	数値目標		事業成果	
					設定目標	数値	実績	目標達成率
18	宇和島市	宇和島市復興まちづくり連携推進事業	平成30年7月豪雨災害からの復興を進めるにあたり、災害復興にかかる専門的見地による外部と現地とのマッチングとして中間支援組織の設立や復興人材の育成及びコーディネート、Webやメディアを活用した効果的な情報発信による外部企業・団体との連携、県外企業等からの支援受け入れ態勢の強化に取り組む。	宇和島市	中間支援組織の設立件数	1件	1件	100%
19	宇和島市	防災アプリケーションAR機能追加事業	宇和島市の公式アプリ「伊達なうわじま安心ナビ」に、現所在地の津波浸水深を視覚的に体感できるAR機能と標高を確認できる標高機能を追加し、市民向け防災出前講座等で周知することで、市民の防災意識の高揚を図る。	宇和島市	(AR機能等を使った)防災出前講座の実施	10回	16回	160%
20	宇和島市	「Shiny Uncle～ミュージカル油屋熊八～」公演事業	別府市の観光業発展に貢献した宇和島市出身の偉人「油屋熊八」を題材とした別府市の小学生によるミュージカルを宇和島市で上演することで、宇和島市民が地元の偉人を顕彰する機会を設けるとともに、両市の市民レベルでの交流を促進する。	宇和島市	入場者数	400人	500人	125%
21	宇和島市	宇和島市吉田町奥南地区柑橘アグリビジネス事業	宇和島市奥南地区において、柑橘ジュースを中心に高品質かつ個性豊かな商品を扱う「株式会社奥南エンゲージファーム」を設立し、都市部の富裕層をターゲットに販売及び販路拡大を図ることで、地域の魅力を広くPRするとともに地域の柑橘農家が潤うことで、さらなる地域活性化につなげる。	渡部 武士	催事販売・事業間取引・ECサイト等による売上本数	1,000本	2,968本	297%
22	松野町	ひとり親・働き手世帯移住プロジェクト	田舎への移住を検討しているひとり親世帯及び働き手世帯へのアクセス方法として効果的な移住定住に関するホームページを作成し、町の魅力を情報発信するとともに、移住時の金銭的負担を軽減する施策を推進することで、移住促進による交流人口の増加を図る。	松野町	県外からの移住世帯数	1世帯	1世帯	100%
23	松野町	コミュニティバス貨客混載調査事業	少子高齢化に伴い地域公共交通(コミュニティバス)の利用者が減少している現状を鑑み、人流だけでなく物流も含めた持続可能な地域公共交通の運行体制の検討を行うため、愛媛大学と連携のもと必要なニーズ調査等を行う。	松野町	調査票の回収率	60.0%	50.0%	83%
24	松野町	松野滑床サイクリング開催事業	滑床の自然を楽しみながら、エイドや昼食で町の特産品を味わえるサイクリングイベントを開催し、参加者を中心にInstagramのフォトコンテストを実施することで、松野町の魅力発信につなげ、交流人口の増加を図る。	松野四万十バイクレース実行委員会	参加申込者数	40人	51人	128%
25	鬼北町	鬼のウォールペイント制作事業	「鬼のまちづくり」の一環として、「鬼」をモチーフとした壁画デザインを全国より募集。選考の上、町内7か所で制作者本人による壁画制作を行ってもらう。また、制作過程をSNS等で国内外へ情報発信し、町の認知度向上につなげるとともに、完成壁画を観光コンテンツとして活用することで、交流人口の増加を図る。	鬼北町	応募総数	15件	16回	107%

令和元年度新ふるさとづくり総合支援事業 実施事業一覧表(南予地方局)

番号	市町名	事業名	事業概要	事業主体	数値目標		事業成果	
					設定目標	数値	実績	目標達成率
26	鬼北町	ジビエ利用推進事業	農作物の被害防止の一環として捕獲したイノシシ・ニホンジカについて、ペットフードや飼料等の地域資源として有効活用を図るため、産官学が連携し、近隣市町等による南予地域ジビエ利用推進協議会を設置し、施設整備及び活用方法等について検討する。	南予地域ジビエ利用推進協議会	平均参加人数	15人	12人	80%
27	鬼北町	癒しの女子旅魅力発信事業	鬼北町出身のタレント(ひめキュンフルーツ缶)を旅行ナビゲーターとして起用し、20~50代女性をターゲットに町内の四季折々の魅力が詰まった情報冊子を作成するとともに、各関係機関及び都市部等を中心に配布・PRすることで、観光客の誘客及び交流人口の増加を図る。	鬼北町	春、夏ダイジェスト版の配布枚数	2,500枚	2,850枚	114%
28	鬼北町	近永駅周辺賑わい創出プロジェクト	JR近永駅舎を活用した地域活性化策を検討するため、産官学が連携したワークショップ及び講演会を開催する。また、その都度ワークショップ新聞を発行して、住民に周知・アプローチすることで、地域課題の解決と今後のまちづくりへの意識の高揚を図る。	鬼北町	プロジェクトへの参加人数	21人	87人	414%
29	鬼北町	正命が愛したまち交流観光拠点創出事業	日吉村初代村長を務めた「井谷正命」の住居であった国登録有形文化財井谷家住宅の保存活用方法を検討する諮問機関を設置し、活用計画の検討を進めるとともに、新たな観光拠点を創出することで、地域活性化を図る。	鬼北町	住民説明会の参加人数	30人	40人	133%
30	愛南町	あいなんバス新規路線運行車両購入事業	平成31年3月に廃止となった民間バス路線の代替として、市町村営自家用有償旅客運送(あいなんバス)を導入することにより、地域住民の移動手段を確保し、住民福祉の向上を図るとともに安全で安心して利用できる公共交通網を確保する。	愛南町	一日当たりのバス利用者数	32人	36人	113%
31	愛南町	愛南町6次産業化推進戦略及び柑橘加工施設シミュレーション作成事業	柑橘加工施設を活用する6次産業化推進戦略を策定し、目指すべき方針及び運営母体の在り方を検討する。また、当施設で想定される収支シミュレーションを行い、必要とされる機能や適正規模・設備について検討する。	愛南町	協議会開催回数	3回	3回	100%
32	愛南町	愛南町結婚・定住促進事業	男性参加者を町内の農林業関係従事者・水産業関係従事者に限定のうえ、両産業の体験を盛り込んだ婚活イベントを開催し、近年婚活イベントで低迷しているカップル数や成婚数の増加を図ることとする。また、参加者募集に合わせてPR動画を松山市の中心部で放映し、事業の周知を図ることで、参加者数の確保に努める。	愛南町	1回当たりのカップリング数	5.5組	3.5組	64%